



20代後半以降から増える「子宮頸がん」

子宮頸がんは、子宮の入口（子宮頸部）にできるがんです。30歳～40歳代に多く発症しますが、20歳代後半から増えています（グラフ1）。20～30歳の若い女性では、乳がんに次いで多いがんです。子宮頸がんの罹患には、ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が関連しているとされています。HPVはごくありふれたウイルスで、性交渉の経験がある女性は生涯で約80%がHPVに感染している可能性があります。早期のうちにはほとんど自覚症状がないため、自分で気付くのが難しいという怖い点もあります。子宮頸がんは、早期発見・治療で90%以上が治ります（*1）。

大切なあなた・家族のためにも受診を！

40歳から 20歳から
乳がん検診 子宮頸がん検診

9人に1人がかかるといわれている「乳がん」

乳がんは、女性に一番多いがん。40～50歳代をピークに罹患が増加しています。日本人女性の約9人に1人が乳がんにかかる危険性があり、子育てや仕事など女性として一番忙しい時期にかかりやすい病気です（グラフ2）。乳がんは、乳房に固いしこりをつくる病気です。しこりを感じなくても、乳頭から血液が出てきて見つかることもあります。入浴や着替えの際に自己触診をする習慣をつけ、異常が見られたらすぐに「乳腺科」を受診しましょう。乳がんは、早期発見・治療で95%以上が治ります（*1）。

がんは、若い女性にはあまり関係のない病気だと思われるかもしれませんが、女性特有のがんは若年層化が進み、20～40歳代で罹患するケースが増えています。乳がん、子宮頸がんは女性であれば誰でも罹患する可能性があり、検診を受けずにいると、大切な体の一部や機能を失い、命に関わることもなにかねません。異常がなくても、2年に1回は必ず検診を受けましょう。

問い合わせ 健康推進課 清水明日香 ☎(23) 0024

婦人科検診についてのお知らせ

たまには母娘と一緒に検診に行ってみるのもありかも？



申請フォーム

対象者に受診券を送付します

- 【対象者】**
- ▶ 令和3年度（骨粗しょう症検診は平成30年度）に市の婦人科検診を受診した人
 - ▶ 令和4年度に未受診かつ25、30、35、45、50、55、60、65歳の人
 - ▶ 令和4年度に未受診かつ健康推進課に令和5年度婦人科検診の受診希望の連絡をした人

無料クーポン券を配布します

- 【令和5年度対象者】**
- ▶ 子宮頸がん=平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれ
 - ▶ 乳がん=昭和57年4月2日～昭和58年4月1日生まれ

令和3年度以前に婦人科検診を受診された人で、受診を希望する場合、申請フォーム(右二次元コード)への入力もしくは健康推進課(☎0024)までお問い合わせください。

検診会場を選べます ※「子」=子宮頸がん、「乳」=乳がん(マンモグラフィ検査)、「骨」=骨粗しょう症

実施機関	会場	子	乳	骨	受診可能日	予約方法	実施期間	オプション検査料金
聖隷予防検診センター(集団検診)	公民館、さざんか、相良保健センターなど	○	○	○	受診券の同封文書参照	WEB ハガキ	8月～10月	▶ 乳がん検診エコー検査(3,850円) ▶ 骨粗しょう症検査(*)
榛原総合病院(個別検診)	榛原総合病院 6階検診センター(細江2887番地1)	○	○	×	申込時に問い合わせ(一部土曜日も受診可能)	電話	12月16日 国まで	▶ HPV検査(3,960円)
あかほりクリニック(個別検診)	あかほりクリニック(片浜873番地2)	○	×	×	月～土曜日(木・土は午前のみ)	WEB 直接来院	12月23日 国まで	なし

*40、45、50、55、60、65、70歳の方は、1,300円で受診可能です。それ以外の方は、2,750円です。

検診の日程、内容について

詳しい日程、場所、検査項目は、市ホームページまたは受診券の同封文書をご覧ください。

●女性の総合がん検診と特定健診の同時受診可能日

婦人科集団検診では、「複合がん検診」と「婦人科検診」、さらに「特定健診」を同日で受診できる日程があります。完全予約制で、全ての検診を1時間で受診することができます。（*両日午前のみ）

【日程】 ▶ 8月12日(国)=総合健康福祉センターさざんか ▶ 8月16日(国)=相良保健センター

●託児の利用可能日

婦人科集団(乳がん、子宮頸がん)検診の際に、託児を利用できます。人数に限りがありますので、希望する場合は、早めに予約をしてください。

【託児可能日】 ▶ 9月4日(国)=総合健康福祉センターさざんか ▶ 10月4日(国)=相良保健センター

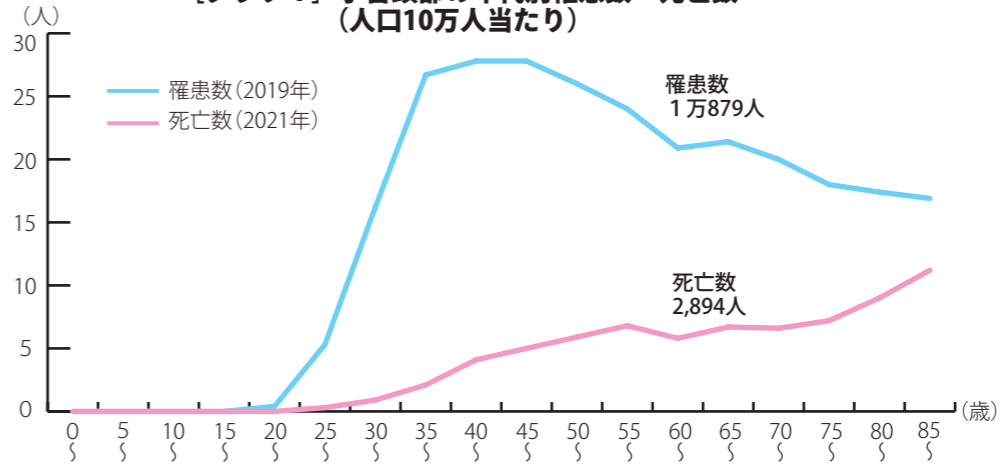
【検診内容】

	検診名	対象年齢(令和5年3月31日時点)	自己負担金
婦人科検診	乳がん検診(マンモグラフィ検査)	40歳以上で前年度に受診していない人	2,000円
	子宮頸がん検診	20歳以上で前年度に受診していない人	1,900円
	骨粗しょう症検診	40歳以上	1,300円(*1)
がん検診	胃がん検診	40歳以上	1,900円
	結核・肺がん検診	40歳以上	無料
	大腸がん検診	40歳以上	1,000円
長寿健診	計測、血圧、尿検査、血液検査	国保加入: 40歳	無料
	クレアチニン、e-GFR	国保加入: 41～74歳	1,000円
	*40歳時、貧血検査・尿酸値あり	後期高齢者医療保険加入: 75歳以上	500円
		国保以外: 社保、共済など(*2)	健保により異なる

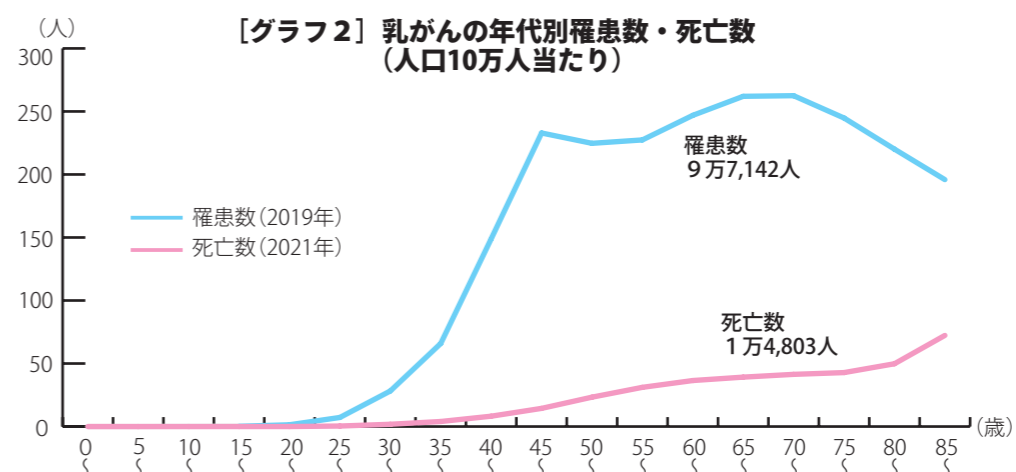
*1 40、45、50、55、60、65、70歳の方は、1,300円で受診可能です。それ以外の方は、2,750円です。
*2 国保以外の特定健診は、特定健診受診券に「集合B」と記載がある健保などが対象となる健診です。受診券がお手元に届いていない場合は、加入している健保組合などにお問い合わせください。

◎今年度から、婦人科集団検診の予約方法が変更になりました。詳しくは、受診券に同封された予約案内を確認してください。

【グラフ1】 子宮頸部の年代別罹患数・死亡数(人口10万人当たり)



【グラフ2】 乳がんの年代別罹患数・死亡数(人口10万人当たり)



【出典】(グラフ1・2) 国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

*1 ここでいう「治る」とは、診断時からの5年相対生存率です。相対生存率は、がん以外の原因で亡くなる人の影響を除いた数値です。